科目名	言語	吾知謂	鈛	文法B							
科目名(英)											
単位数	4	4単位		時間数		60時間		担当者		横地 知子	
実施年度	20	22年度		実施時期	3	後期		担当者実務網	圣験		
対象学科・学年	国際	ホテル・リ	リゾ-						,		
授業概要	対象(話題)	に文法を について	·学ぶ 話し	ぶ。N2レベル(たり、N2レベ	の文 ルて	法を使った例	文 読め	作成や試験形)、聞き取りか	彡式の	では12月にN2を受験する学生 D練習問題を行いながら、一般 るよう、運用力の向上を目指す	的な
授業形式	講義:	0	演 [:]	習: △	実	멸 . 즐 :	実	支:	>	※ 主たる方法: 〇 その他:	Δ
	言語 知的 情報 技能	運動 態度 技能 意欲	その他					目標			
	0 0			文の内容に合	った	適切な文法形	式を	用いて文を作	ること	ができる。	
学習目標	0 0			N2レベルの3	文法を	を使い、統語的	に正	しく、意味が追	通る文	を組み立てることができる。	
(到達目標)	0 0			N2レベルで書	かれ	た文章の中で	、文	章の流れや表	現意	図に合う文法を選び使うことができ	る。
	0 0	0		習得した文法	を使	:のコミュニケ-	ーション	ンが取れる。			
			14-	A = ## R =	 	St. 15					
テキスト・教材	・氏原 ・佐々	₹庸子/년 ₹木仁子	E旧t 松:	令子者『日本》 本紀子 『日2	語能 本語	力試験N2又 総まとめ N2	法 文法	必修バターン も』 アスク出	ノ』 J 版 2	リサーチ出版 2017年 2018年 他 (参考)	
参考図書								莫字能力検定協会 2021年(参	≱考)		
	回数			授業項	頁目			授業外学修指示			
	1 基礎	編 UNIT	1 助	詞						きすること。(0.5時間) 語彙を覚えること。(0.5時間)	
	2 基礎	編 UNIT	2 副	詞					復習を	をすること。(0.5時間) 語彙を覚えること。(0.5時間)	
	3 基礎	編 UNIT	3 接	 続詞					復習を	きすること。(0.5時間)	
	4 基礎	編 UNIT	4 敬	語					復習を	語彙を覚えること。(0.5時間) きずること。(0.5時間)	
	-				性質	、傾向 ③理由、	目的			語彙を覚えること。(0.5時間) きすること。(0.5時間)	
	运	な Noサ	印作习	10 # 7 # # # # # # # # # # # # # # # # #	少和 (断 ⑦テーマ、対象	<u> </u>			*語彙を覚えること。(0.5時間) そすること。(0.5時間)	
										語彙を覚えること。(0.5時間) デすること。(0.5時間)	
						館 ①限定 ①				語彙を覚えること。(0.5時間) ですること。(0.5時間)	
		- 1 1112				時期 ②立場状 比喩 ⑤対比 ①		沙阪ル	新しい	語彙を覚えること。(0.5時間)	
	9 所								新しい	子すること。(0.5時間) 語彙を覚えること。(0.5時間)	
	10 対策	i編 UNIT	1 N2	②文型の整理⑦射	強調、	繰り返し ⑧逆接	、怠			をすること。(0.5時間) 語彙を覚えること。(0.5時間)	
	11 対策 対象		1 N2	2文型の整理⑩ダ	€件、	基準方法 ⑪様	子、ſ			をすること。(0.5時間) 語彙を覚えること。(0.5時間)	
			1 N2	?文型の整理⑬譚	意志、	意向 ⑭理由、村	艮拠	15可能、不可	復習を	ですること。(0.5時間) 活彙を覚えること。(0.5時間)	
		マスト①	&フ-	ードバック						たところの復習をすること。(1時間)	
	14 対策	編 UNIT	1 N2	2文型の整理値	平価、	感想 ⑪見方、ネ	考えス			子すること。(0.5時間) 語彙を覚えること。(0.5時間)	
授業計画		編 UNIT	2 言	葉をつなぐ練習	ドリ	ルA∼C			復習を	きすること。(0.5時間)	
	16 対策	編 UNIT	3 文	 をつなぐ練習 ト	ジリル	 4, В			復習を	語彙を覚えること。(0.5時間) きすること。(0.5時間)	
	17 対策	編実戦総	東習 .	JLPT N2 問題7	7に挑	戦!パターン①	~(4)		復習を	語彙を覚えること。(0.5時間) きすること。(0.5時間)	
									復習を	語彙を覚えること。(0.5時間) きすること。(0.5時間)	
		プラスト②			• • •					・語彙を覚えること。(0.5時間) とたところの復習をすること。(1時間)	
					n. @					きすること。(0.5時間)	
				引題8に挑戦!(1					新しい	: 語彙を覚えること。(0.5時間) ですること。(0.5時間)	
				引題9に挑戦! <i>/</i>					新しい	語彙を覚えること。(0.5時間)	
	22 対策	編•JLPT	N2 ₽	引題9に挑戦! <i>/</i>	パター	ン34			新しい	ですること。(0.5時間) 語彙を覚えること。(0.6時間)	
	23 対策	編•JLPT	N2 昆	問題9に挑戦!/	パター	ン567			新しい	きすること。(0.5時間) 語彙を覚えること。(0.5時間)	
	24 ビジ	ネスで用い	られ	る文法表現 ①	做語	尊敬語)				きすること。(0.5時間) 語彙を覚えること。(0.5時間)	

麻生外語観光&製菓専門学校 シラバス

	25	5 ビジネスで用いられる文法表現 ②(敬語 謙譲語) 復習をすること。(0.5時間) 新しい語彙を覚えること。(0.5時間) 復習をすること。(0.5時間)													
	26	ビジネスで用いられる文法表現	見 ③(ビジネス会	会話の中での表	現)	復習をすること、新しい語彙を覚		持間)							
	27	ビジネスで用いられる文法表現	見 ④(ビジネスズ	文の中での表現)	復習をすることが新しい語彙を覚	。(0.5時間)								
	28	N2文法 総復習① 文の組み3	立て			間違えたところ									
	29	N2文法 総復習② 文法形式(の判断			間違えたところ	の復習をするこ	と。(1時間)							
	30	N2文法 総復習③ 文章の文法	去			間違えたところ	の復習をするこ	と。(1時間)							
	る。 以」)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを2回実施する。(3)小テストを計8回実施す。 。 .上を下記の観点・割合で評価する。 .績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。													
		言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合													
評価方法		定期試験	0	0				50%							
計画刀丛		確認テスト	0	0		0		20%							
		小テスト	0	0		0		30%							
履修上の注意	Н	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。													

科目名	━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	 文字語彙B		711-	これ
科目名(英)		ter and Vocabulary			
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	秋本佐代子
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
			夜州	也ヨ白天仞粧影	
対象学科・学年	国際ホテル・リゾー				
授業概要	みではなく、聴解・ 難易度がN2レベ 使えるようにする。	や読解問題、日常会 いの語彙を中心に	会話にも活かせる こ、約1,200語の読 現、反意語なども	語彙運用能力の み方、意味を学	格を目指し指導を行う。単に語彙知識の D育成に力を入れる。 ぶ。短文や会話の文脈にあった語彙が 文字語彙の定着を図る。 また、N2レベ
授業形式	講義: 〇 演	[習: △ 実	習: 実	支:	※ 主たる方法:○ その他:△
	言語 知的 運動 態度 情報 技能 技能 意欲 その他		, ,_, , ,	目標	
	0 0	前後の文脈に合			る。
学習目標 (到達目標)	00				〜直さ換えて使うことができる。 つけて使うことができる。
	0	N2レベルの漢字			ンバで使うことが、くとる。
	0 0	N2レベルの漢字			
テキスト・教材 参考図書		本語学校 筒井 日			ン』Jリサーチ出版 2017年 PT日本語能力試験 ベスト模試 N2』ジャ
	回数	授業項目	 ·内容		
	1 PART1 基礎編 I	 UNIT1 伸ばす音・伸り	ばさない音		日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え 、(1時間)
	2 PART1 基礎編	UNIT2 詰まる音	·詰まらない音	今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	3 PART1 基礎編		 °」が付く音	今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	4 PART1 基礎編	UNIT4 「ん」が入	 .る音	今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	5 PART1 基礎編	UNIT5 漢字の訓	 読みに注意したし	√量華	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え。(1時間)
	6 PART1 基礎編	UNIT6 いろいろな	 読み方をする初級漢字	マ・小テフト 今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え
	7 PART1 基礎編	UNIT7 読み方が	 「同じ言	今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え 、(1時間)
	8 PART2 対策編	UNIT1 漢字の訓	読みに注意したし	√重華 今	ロ学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	9 PART2 対策編	UNIT2 いろいろ	な意味を持つ言葉	今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	10 PART2 対策編	UNIT3 形が似て	いると言葉(1)	今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	11 PART2 対策編	UNIT4 形が似て	いると言葉(2)	今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え 、(1時間)
	12 PART2 対策編	UNIT5 意味が似	ている言葉・小テ	スト	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	13 PART2 対策編	UNIT6 一字で言	葉になるもの	今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	14 模擬試験			テ	ストでわからなかった語彙を中心にノートに書いて習する。(1時間)
授業計画	15 PART2 対策編	UNIT7 前に付く	語・後ろに付く語	今	ロ学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	16 PART2 対策編	UNIT8 特別な読	み方の言葉	今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	17 PART2 対策編	UNIT9「たとえ」	の表現	今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	18 第2章 実践練習	図 UNIT1 問題1(淳	漢字)に挑戦!・小	テスト	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	19 第2章 実践練習	■ UNIT2 問題2(表	長記)に挑戦!	今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	20 第2章 実践練習	INIT3 問題3(記	西形成)に挑戦!	今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え 、(1時間)
	21 第2章 実践練習	UNIT4 問題4(対	て脈規定)に挑戦	, 今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え
	22 第2章 実践練習	■ UNIT5 問題5(言	こい換え類語)に拡	k 半 今	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	23 第2章 実践練習	■ UNIT5 問題6(月	月法)に挑戦!・小	テフト	日学んだ語彙を音読しながらノートに書いて覚え (1時間)
	24 カタカナ語と漢字	学の入力		今	日学んだ言葉をもう一度音読しながら入力練習す (1時間)

麻生外語観光&製菓専門学校 シラバス

	25	基礎編の漢字					を音読しながらん	ノートに書いて覚え						
						る。(1時間) 今日学んだ漢字	を音読しながら。	ノートに書いて覚え						
	26	実践練習の漢字・小テスト	•			る。(1時間)		「に自いて先ん						
	27	ベスト模試の復習(漢字詩	あ・表記)				を音読しながらん	ノートに書いて覚え						
		一				る。(1時間)	ナエミナンバン	1 しに書いて尚ら						
	28	ベスト模試の復習(語形成	₹・文脈規定)			る。(1時間)	を百読しなからん	ノートに書いて覚え						
	29	ベスト模試の復習(言い換	ጲえ類語・用法	;)		今日学んだ語彙 る。(1時間)	を音読しながらん	ノートに書いて覚え						
	30	総復習				正試験に向けて	全体を復習する	。(1時間)						
	以上	授業の中で小テストを計4 -を下記の観点・割合で評6 責評価基準は、S(90点以上	価する。											
		言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価												
評価方法		定期試験	0	0				50%						
計顺力法		復習テスト	0	0				30%						
		模擬試験(言語知識)	0	0				20%						
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。 テキスト持参のこと。忘れた場合は、授業前までにコピーをしておくこと。													

科目名	日	本事	情B											
科目名(英)														
単位数		2単位		時間数		30時間	担当者		横地	知子				
実施年度	20	022年度	Ę	実施時期	1	後期	担当者実務	圣験						
対象学科・学年	国際	ホテル	・リゾー											
授業概要	て書: 様の	かれた 詳 形式の間	論旨の明 問題に数	月快な文章を読	たんで、そ 。同時に	その内容や表現 こ、読解問題の	見意図を理解す	る読解力がす	えめられるた	、幅広い話題につい め、実際の試験と同 せて学ぶ。JLPT後				
授業形式	講義:	0	演 ²	習: △	実習:	実	 技:	※ 主た	:る方法:C) その他:△				
学習目標 (到達目標)	言語 知的情報 技能 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	技能意	度欲その他	幅広い話題にて 比較的平易なり 一般的な話題に	内容の評	かれた論旨が明† 論、解説、エッセ 内容の複数のテ <i>=</i> な評論などの長	イを読み因果関キストを比較・統	で内容が把握で係、概要、筆者の合しながら、読み	の考えを掴む	べできる。				
	0 0													
テキスト・教材 参考図書		・氏原庸子/清島千春 共著『日本語能力試験N2読解 必修パターン』 Jリサーチ出版 2017年 ・BJT ビジネス日本語能力テスト 読解 実力養成問題集(第2版) スリーエーネットワーク 2018年												
授業計画	2 基基 4 基基 5 基础 6 基础 7 対確 9 対対 10 対対 11 対別 12 の 13 BJ 14 N2	一、	第1章 第1章 2章 章 2章 章 2章 章 2章 章 82章 第2章 第2章 第2章 第2章 第2章 第2章 第2章 第2章 第2章 第	短短短短 文 生 実 実 実 実 実 実 実 実 実 実 実 実 実 実 実 実 実 ま	リンス は いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっ	1、2、3 4、5、6 7、8 9、10 理関係に注目す た方に注目する な な な な な な な が 、 を が 、 に 注目する な く く く く く く く く く く く く く く く く く く	パターン	復間復間(2015) (20	の語彙の意味の意味の意味の意味の意味の意味の意味の意味の意味の意味の意味の意味の意味の	を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時 を調べ覚える(0.5時				
評価方法			は、S 試験 テスト	(90点以上)・		記 テストを1位記 以上)・B(70知的技能©○○○								
履修上の注意	出席	が10回	に満れ	cない場合は	、定期	試験の受験資	を 格を与えなし	, \ _0						

科目名		日本訂	吾君	長現	₹B									
科目名(英)														
単位数		2単位	立		時間	数	30時	間	担当者		横地	4子		
実施年度		2022年	度		実施	時期	後其	H	担当者実務	経験				
対象学科•学年	[国際ホテ	ル・リ	ノゾ -						1				
授業概要	를 필	会話や説 習を行う。	.明を 。ま <i>た</i>	聞い こ、E	いて、話の 本語能)内容を 力試験対	登場人物 対策として	の関係は、実	などと合わt	せてほぼ理解 と数多く解く	解できるように ことで、実力を	近いスピードの :、聴き取りの練 養う。JLPT後		
授業形式	講	義: (C	演	習: △	」 実習	習:	実	技:	※ 主	たる方法:〇	その他:△		
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他				· ·	目標					
	0	্ তি												
学習目標	0													
(到達目標)	0													
	0	D O 短い発話や状況説明に対し、適切な発話ができる。												
	0	0			ビジネス	場面では	の会話を	聞き、_	上下関係や社	上内外の関係	系が把握できる	5.		
テキスト・教材 参考図書											チ出版 2018 ーエーネットワ	年 フーク 2018年		
	回数				授	業項目·	•内容				授業外学修	指示		
	1	聴解対:	策	基礎	編 UNIT	1~7						彙や文法はスクリプ 」を書いてくる。(1時		
	2	聴解対	策 :	対策	編課題	理解①	UNIT1			間違えたとこ	ろは聞き直す。語	<u>」を書いてくる。(115)</u> 彙や文法はスクリプ 」を書いてくる。(1時		
	3	聴解対:	 策 :	対策	編課題	理解②	UNIT2			間違えたとこ	ろは聞き直す。語	<u>」を書いてくる。(115)</u> 彙や文法はスクリプ 」を書いてくる。(1時		
	4	聴解対:	策 :	対策	編 ポイン	ント理解の	① UNIT	1		間違えたとこ	ろは聞き直す。語	」を書いてくる。(「時 彙や文法はスクリプ 」を書いてくる。(1時		
	5	聴解対	策 :	対策	編 ポイン	ント理解の	2 UNIT2	<u>.</u>		間違えたとこ	ろは聞き直す。語	」を書いてくる。(「時 彙や文法はスクリプ 」を書いてくる。(1時		
	6	聴解対	策 :	対策	編 概要	理解①	UNIT1, 2	2		間違えたとこ	ろは聞き直す。語	」を書いてくる。(「時 彙や文法はスクリプ 」を書いてくる。(1時		
	7	聴解対	 策 :	対策	編 概要	理解②	UNIT3.	4		間違えたとこ	ろは聞き直す。語	」を書いてくる。(1時 彙や文法はスクリプ 」を書いてくる。(1時		
授業計画	8	確認テ	スト	1) 7	ィードバ	ック				間違えたとこ	ろは聞き直す。語	彙や文法はスクリプ		
	<u> </u>						IT1~5±:	なる 理(¥①UNIT1	間違えたとこ	ろは聞き直す。語	」を書いてくる。(1時 彙や文法はスクリプ		
										トでチェック。	「試験に出る言葉 ろは聞き直す。語	」を書いてくる。(1時 彙や文法はスクリプ		
	ļ						Π6~9+	統合理	解②UNIT2	トでチェック。	試験に出る言葉	」を書いてくる。(1時		
	11	確認テス	ストに	2) フ	ソイードバ	ック				トでチェック。	試験に出る言葉	彙や文法はスクリプ 」を書いてくる。(1時		
	12	総復習	ビジ	ジネス	ス場面の	聞き取り	11			間違えたとこれでチェック。	ろは聞き直す。語 「試験に出る言葉	彙や文法はスクリプ 」を書いてくる。(1時		
	13	総復習	ビシ	ジネス	ス場面の	聞き取り	12					彙や文法はスクリプ 」を書いてくる。(1時		
	14	確認テス	ストは	3 7	ィードバ	ック				間違えたとこ	ろは聞き直す。語	彙や文法はスクリプ 」を書いてくる。(1時		
	15	N2レベ	ル聴	解	総復習						5は聞き直す。(1			
	以」	15 N2レベル聴解 総復習 (1)授業内に確認テストを3回行う (2)定期試験(筆記試験) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
評価方法	言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合													
	定期試験 ○ ◎ 50%													
	確認テスト ○ ◎ ○ 50%													
履修上の注意	Ŀ	出席が10	回(満力	とない場合	合は、定	期試験の	受験貨	資格を与えな					

科目名	t	ごジネ	ス	日	本語B									
科目名(英)	В	Business Japanese B												
単位数		2単位	立		時間数		30		担当者		秋本佐	代子		
実施年度		2022年	度		実施時期	胡	後期		担当者実務網	圣験				
対象学科·学年	3	国際ホテ	ル・リ	ゾー	·卜科 1年									
授業概要	3	ュニケー	-ショ	ンが		なること	を目指す。	基本				日本人と円滑なコ させ、ロールプレ		
授業形式	講	義: ()	演 [·]	習: △	実習:		実	技:	※ 主た	.る方法: O	その他:△		
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他		•			目標					
	0	0			ビジネス用詞	語を読み	書きするこ	ことか	できる。					
学習目標	0	0			丁寧なことに	ばに変え	.る日本語の	のしく	くみを説明でき	きる。				
(到達目標)		0 0			ビジネス表現	見を、動	作と共に通	動切な	ょタイミングで	使うことができ	る。			
		0	0		基本を参考	にしなか	ら、短いビ	゙゙ジネ	ス会話文を	乍ることができ	る。			
	0	○ 後輩と上司への言葉を使い分けについて説明することができる。												
テキスト・教材 参考図書	扂	宮崎道子・郷司幸子『にほんごで働く ビジネス日本語30時間』スリーエーネットワーク(2019年)												
	回数				授業	項目・内]容				授業外学修	指示		
	1	授業項目・内容 授業外学修指示 会社で使うことば・敬語表 デキストの言葉と表現を音読しながらノートの写して 覚える。(1時間)												
	2	5. 頼む・	断る	ر _ ا	-ば)					テキストの言葉と	:表現を音読しな	ょがらノートの写して		
					 話·会話)					覚える。(1時間) テキストの言葉と	:表現を音読しな	よがらノートの写して		
	3				_					覚える。(1時間)	·耒珇を咅謞 <i>†</i>	よがらノートの写して		
	4	5. 頼む・	断る	·(練·	習・ロールプ	レイ)				覚える。(1時間)				
	5	6. 許可る	をもら	5う(/	小テスト・こと	ば)				テキストの言葉と 覚える。(1時間)	:表現を首読しな	ょがらノートの写して		
	6	6. 許可る	をもら	う()	淡話・会話)					テキストの言葉と 覚える。(1時間)	:表現を音読した	ょがらノートの写して		
Tat) 484 = 1	7	6. 許可る	をもら	5う(糸	東習・ロール	プレイ)						ょがらノートの写して		
授業計画	8	7. アポィ	イント	をと	る(小テスト・	ことば)					:表現を音読しな	ょがらノートの写して		
	9	7 アポィ	へント	をと	 る(談話・会記	壬)				テキストの言葉と		ょがらノートの写して		
	Ľ						<u> </u>			覚える。(1時間) テキストの言葉と	:表現を音読しな	よがらノートの写して		
					る(練習・ロー		1)			覚える。(1時間)	·丰明太辛詰し#	ょがらノートの写して		
	11	8. 訪問	する	(小 -	テスト・ことば)				覚える。(1時間)				
	12	8. 訪問	する	(談	話•会話)					覚える。(1時間)		ょがらノートの写して		
	13	8. 訪問	する	(練習	習・ロールプし	ノイ)				テキストの言葉と 覚える。(1時間)	:表現を音読しな	ょがらノートの写して		
	14	5~8課	の振	り返	IJ							自分が苦手なものを		
	15	実演テス	スト・・	一年	間の復習					1~8課までの表				
	以上	を下記(の観	点:	引合で評価す 90点以上)・/	⁻ る。 A(80点J	以上)•B(7	/0点』	以上)・C(60,	で実演テストを 点以上)・D(59	点以下)とす	· -		
					百	語情報		能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
評価方法			期試			0	0					40%		
	小テスト ◎ ◎ 20%													
	実演テスト © O 40%													
履修上の注意									を与えない。 ⁸ ーをしておく	- L				

科目名	卮	。 用 E]本	語	В									
科目名(英)														
単位数		4単位	<u>ታ</u>		時間数		60時間		担当者		秋本 佐	代子・	横地 知	了
実施年度		2022年	度		実施時期	Я	後期	担		ŧ				
対象学科·学年	玉	際ホテ	ル・リ	ゾー	卜科 1年			•						
授業概要	れが 正角 にI	に論旨の 解にたど 収るべき?	明快な りつける 行動をli	文章 るよう。 間違し	を読んで、必要 . 読解の基本! \ なく行えるよ [.]	要な情報 技術を う、文章	報を得たり、大意 学ぶ。聴解では	意や筆者 試験形 表現に	中心に出題分野が その主張を掴んた 式の問題を使い も注目しながら網 ・指導する。	ぎり、ま 、話の	た、自分の持つ)流れを予測した。	つ知識を	を最大限に :況を把握	こ生かして したり、次
授業形式	講義	: ()	演習	': Δ	実習	달:	実技	:	×	主たる方法	:0	その化	₫ : △
学習目標 (到達目標)	情報 : 〇	国的 運動技能	態度意欲	-	-般的な話題 -般的な話題 まとまりのある	風につ 風に関 る会記	いて書かれた する会話やモ を聞いて、登	文章にノローグ場人物	目標 か述べることか ついて大意を がを聞いて、話 の関係や状況	述べる の流 を説	ることができる れや要旨を説 明することが	明でき		
テキスト・教材 参考図書		〇 〇 縦書原稿用紙に自分の考えを論理だてて書くことができる。 ・棚橋明美・杉山ますよ 他共著 『日本語能力試験スピードマスターN2 読解』 Jリサーチ出版 2016年												
授業計画	2	惠 売 惠 売 惠 売 惠 売 惠 売 惠 売 惠 売 惠 売 惠 売 惠 売	オみオみイ容イ容要容要容時合時合認認認手手す一方一方と理と理理理理応理応理テテテ分分語の 1000の1111の1111の1111111111111111111111	ンクンク理経理経経経経済経済経済というののでは、これが、は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	アップ キー「 アップ 接続記 アット 文 文 文 文 統 主 統 主 ファット (ン) (2) 文 文 文 統 主 統 主 ファック (2) (3) (4) (1) (4) (1) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	カフード カフード フロ・コート	プロポイントとを覚えよう① を覚えよう② を覚えよう②	課題理	新聞新聞新聞新聞新聞新聞新聞新聞新聞新聞新聞新聞新聞新聞新聞新聞新聞新聞新聞	い皇い皇い皇い皇い皇い皇い皇い皇い皇い皇い皇い皇い皇い皇い皇い皇い皇い皇い皇	大量と彙と彙と彙と彙と彙と彙と彙と彙と彙と彙と彙と彙と彙と彙と彙と彙と彙と彙と彙	す。き。す。き。す。き。す。き。す。き。す。き。す。き。す。す。す。き。す。き	(0.5 m l) (0.	時間) ・

麻生外語観光&製菓専門学校 シラバス

	25	士事の日本語(ホテル編) 新しい語彙や表現を覚えること(0.5時間) 課題をやること。(0.5時間)												
	26	仕事の日本語(ホテル編)				課題をやること	。(0.5時間)							
	27	作文の書き方(縦書き 書式)			課題をやること	。(1時間)							
	28	聴解 確認テスト④ フィート	ドバック			間違ったところる新しい語彙を覚								
	29	作文の書き方(縦書き 構成	 t)			課題をやること	。(1時間)							
	30	N2 総復習				間違ったところで 新しい語彙を覚								
	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)確認テストを4回実施する。(3)『仕事の日本語』課題を2 2課題を提出する。 以上を下記の観点・割合で評価をする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とす													
			言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合											
評価方法		定期試験	0	0				50%						
ᄍᄊᅜᄣᅖᇷ		確認テスト	0	0				30%						
		課題		0		0		20%						
履修上の注意	出	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。												

科目名	実用日本語	吾B													
科目名(英)															
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	秋	本 佐代子・	横地 知子								
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務	径験										
対象学科・学年	国際ホテル・リゾ-	 科 1年			'										
授業概要	中級レベルの日2 とりわけ、文字語 解説を行い、読解	彙と文法の実際の	の出題形式に近	い問題を毎回	1、宿題として										
授業形式	講義: 〇 演	習: △ 実	習:	 ミ技 :	※ 主た	る方法:○	その他:△								
	言語 知的 運動 態度 情報 技能 技能 意欲 その他	1		目標	Ę										
	0	N2レベルの漢字(約	約1000字)で書か	れた語を読むこ	ことができる。										
学習目標	0 0	前後の文脈に合う	語彙(N2レベル)	を使うことができ	きる。										
(到達目標)	○														
	0 0														
	0 0														
テキスト・教材 参考図書	•国書日本語学校 2018年	・国書日本語学校 編著 『日本語能力試験20日で合格N2 文字・語彙・文法 改訂版』 国書刊行会													
	回数														
	1 言語知識 漢字詞	読み 表記 語形成(1)		間違えたところる		。(0.5時間)								
	2 言語知識 漢字詞	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2		間違えたところ	を復習すること。	。(0.5時間)								
	3 言語知識 文脈規		田法① 小テス	k (1)	宿題をすること。 間違えたところ	を復習すること。	,(0.5時間)								
	4 言語知識 文脈規				宿題をすること。間違えたところ	を復習すること。	。(0.5時間)								
					宿題をすること。間違えたところ		。(0.5時間)								
		が 大きの 大きの 大きの			宿題をすること。	(1時間)									
		ジ式の判断 文章の		_	宿題をすること。間違えたところ	, (1時間)									
授業計画	7 言語知識 文の糺	■み立て① 文章の	文法③ 小テスト 	2	宿題をすること。	(1時間)									
	8 言語知識 文の刹	且み立て② 文章の	文法③		間違えたところる 宿題をすること。		,(0.5時間 <i>)</i>								
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
						_									
	(1)授業の中で小テン 以上を下記の観点 成績評価基準は、S	₹・割合で評価する	5.	t験(言語知識 0点以上)・C()とする。								
□ /= /- /+		言語情	報 知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合								
評価方法	模擬試験結身	₹ O	0				50%								
	小テスト	0	0		0		50%								
履修上の注意	出席が6回に満た 問題は、前もって				 こと。 セノニト										

科目名	7	ホテ ル	ノ概	論	В											
科目名(英)	С	ホテル概論B Outline of Hotel Industry B 2単位 時間数 30時間 担当者 木村 匡志														
単位数		2単位	立		時間数		30時間	担当者		木村 国	志					
実施年度		2022年	度		実施時期		後期	担当者実務	経験	外資系ホテル 飲部門スタッフ						
対象学科・学年		国際ホテ	ル・リ	ゾー	L ·卜科1年				4"	WARE IN JO						
授業概要	才	トテル全 务理解を	般や! 中心	取り: に、7	巻く環境等に関す ホテル業界にて働	-る知 がく上 ⁻	識を広く学 <i>。</i> で知っておく	ぶ。特にレスト べき知識や専	ラン・宴会とい 『門用語の習行	った料飲部門 骨を目指す。	の基本的な業					
授業形式	講	義: ()	演	習: △ 実	習:	身	€技:	※ 主	-る方法:○	その他:△					
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他			•	目標	<u> </u>							
	0	0			ホテルのカテゴリ	J一名	称や客室タ	イプについて	、正しく答える	ことができる						
学習目標	0	0			日系・外資系の7											
(到達目標)	0	0			ホテルのレストラ	ン部	門について	、専門用語や	特徴を正しく答	えることがで	きる					
	0	0			ホテルの宴会部	門に	ついて、専門	『用語や業務』	内容を正しく答	えることがで	きる					
テキスト・教材 参考図書	酉	この プログラント														
	回数	授業項目•内容 授業外学修指示														
	1	授業概要	受業概要の説明、ホテルのカテゴリー 授業内容を復習しておくこと													
	2	ホテルの	まデルの客室タイプ 授業内容を復習しておくこと													
	3	一流木	テル石	研究!	レポート				調べた内容をレポートにまとめること							
	4	日系ホー	テルク	ブル-	ープと代表的なホ	テル			授業内容を復習	しておくこと						
	5	日系ホー	テルク	ブル-		テル			授業内容を復習	しておくこと						
	6				ループと代表的な		ル		授業内容を復習	しておくこと						
	7	料理カラ	テゴリ	——別	のホテルレストラ	シン			授業内容を復習	しておくこと						
授業計画	8	福岡市口	内の	有名	ホテルレストラン	研究			調べた内容をレ	ポートにまとめる	عے					
	9	ホテルの	Dバ -	-や -	 ラウンジ・ケーキシ	ノヨツ	 プ		授業内容を復習	しておくこと						
	10	福岡市口	内の	有名	ホテルバー・ラウ	ンジ	 研究		調べた内容をレ	ポートにまとめる	تك					
	11	コース米	₩理0	ンメニ	 -ユー構成				授業内容を復習	しておくこと						
	12	レストラ	ンや	バー	で提供される代表	長的な	アルコール	 ·飲料	授業内容を復習	しておくこと						
	13	ホテル国	全会会	部門の	 の知識				授業内容を復習	しておくこと						
	14	テーブル	レプラ	シ					授業内容を復習	しておくこと						
	15	授業総	括、ま	ELØ.)				レポートを提出す	すること						
	以上	を下記の	の観	点:割	スト(2)レポート課 割合で評価する。 90点以上)・A(80		上)•B(70点	ī以上)•C(60,	点以上)•D(59	点以下)とす	ే .					
		言語情報 知的技能 運動技能 態度·意欲 その他 評価割合														
評価方法	小テスト ◎ O 50%															
	レポート課題 ◎ ○ 50%															
履修上の注意					上になった場合は 可の授業にて持参											

科目名	ホテルサービスB														
科目名(英)	Н	lotel s	ervice	B											
単位数		2≜	単位		時間	数		30時間	担当者	†	一岡	——————— 浩己			
実施年度		202	2年度		実施問	期		後期	担当者実務	経験	外資系ホテル	√13年勤務			
対象学科・学年	[3	国際ホ	テル・	リゾー		E.	•		•						
授業概要	ŧ	5る。 こ		業で	は、特に宿							身する必要性が 通して身に付ける			
授業形式	講	義:	Δ	演 [:]	習: 0	実	習:	美	技:	※ 主	たる方法:〇	その他:△			
	言語情報		重動 態度 意欲					L	目札	票					
	0	0			宿泊部と	しての	業務る	を理解し説	明できる。						
学習目標		(0		アテンド第	美務を行	行うこ	とが出来る	0						
(到達目標)		0	0					7 7,07 07 141]が行える。						
	0	(○												
テキスト・教材 参考図書	-	一般社	般社団法人 日本ホテル教育センター 宿泊業務の基礎												
	回数				授	業項目	内容	}			授業外学修	指示			
	1	宿泊部	部の役	割につ	oいて(特性	·使命·	心得))							
	2	宿泊部	部以外。	の部署	響について(宴会・	インタ-	ーナショナル	セールス)						
	3	ベルス	スタッフ	業務	説明•実務										
	4	アテン	<u>の流れ</u> ボ実務 トの使	(ロビ		フロン トからエ	トまで	案内 ーターまで案	内	アテンドのセ	リフを覚える				
	5				<u> </u>	から退置	 室			アテンドのセ	リフを覚える				
	6	アテン	ド実務	(客室	医)② 入室	から退	········ 室			アテンドのセ	リフを覚える				
授業計画	7	ハウ	スキー	ピン	グ業務(ベ	ッドメイ	イキン	ヷ゙゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゚゙゚゙゙゚゚゙゚゚゙゙゙゙゚゚゙゚゙	アート実務)						
	8	小テ	スト(1:	コマ目	まから7コマ	7目)•7	アテン	ド実務の復	2習	小テスト予習					
	9	コンシ	ノエルシ	シュ業	 :務① 福岡	日での勧	見光フ	 プランについ	 て話し合う。	話し合った内	容をノートにまと	める			
	10	コンシ	ノエル	ジュ業	養務② 観	光プラ	ン発表	 長		レポート作成					
	11	アテン	/ド実	務(客	室)③ 入	室から	5退室	 <u></u>		アテンドのセ	リフを覚える				
	12	アテン	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	務(客	室)④ 入	室から	边退室	 		アテンドのセ	リフを覚える				
	13	アテン	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	務(客	室)⑤ 入	室から	边退室			アテンドのセ	リフを覚える				
	14	実技 [·]	テスト	① <i>7</i>		室まで	<u> </u>			アテンドのセ	リフを覚える				
	15	総ま	上め(j	こ ミ技ラ	テスト予備))									
	(1) 以」	総まとめ(実技テスト予備) 対 授業の中で実技確認テストを実施する。(2)授業の中で筆記確認テストを実施する。 上を下記の観点・割合で評価する。 横評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。													
評価方法						言語情	報	知的技能	運動技能	態度•意欲	欠るの他	評価割合			
		実技確認テスト ◎ ◎ 40%													
			確認テ			0		0				40%			
		レポート発表・提出 © © 20%													
履修上の注意	ㅂ	出席が	10回(こ満力	こない場合	は、単	位を	与えない。							

科目名	ホテルコミュニケーションスキルB													
科目名(英)	Н	Hotel Communication Skill A												
単位数		2単位	立		時間数	30時間		担当者		秋本佐	代子			
実施年度		2022年	度		実施時期 後期				担当者実務	経験				
対象学科·学年	[3	国際ホテ	ル・リ	ゾー	·卜科 1年									
授業概要	l	ホテルで働くのには敬語の知識が不可欠であるが、この授業では場面に応じた基礎的な敬語の運用を学んでいく。普段の日本語科目授業では目にしない専門用語に触れ、覚えるだけでなく、適切なタイミングで即座に使用できるよう、音読練習やロールプレイ練習も取り入れていく。												
授業形式	講	義: 4	Δ	演 [:]	習: 0	実習:		実	技:	※ 主た	-る方法: O	その他:△		
	言語 情報	知的 運動 技能				l .			目標					
	0	0			カジュアルな表現を敬語に変えて話すことができる。									
学習目標	0	0												
(到達目標)		0	0		お客さまに正	Eしい順	序でサービ	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙	内容を案内す	ることができる	5.			
		0	0							なタイミングて				
	0	0	0		ホテルでの	会話文を	正しい日本	本語	で作成し、正	しいイントネー	・ションで話す	ことができる。		
テキスト・教材 参考図書	耋	参考図書 JAL ACADEMY 『サービス日本語~ホテルスタッフ編~』にほんごの凡人社(2003年)												
	回数				授業	授業項目·内容					授業外学修			
	1	ホテルサ	ナーヒ	ごスて	で大切なこと		ホテルサービスについて調べ、ノートにまとめる。(0.5 時間)							
	2	ホテル美	業界(の面	接について		ホテル業界面接について調べ、ノートにまとめる。 (0.5時間)							
	3	先輩から	ら学	ડેર્ડ				てのメモを、ノー	-トにもう一度まとめ					
	4	先輩の	話の	振り	返り(ディスカ	ッション		の内容をノートに	にまとめる。(0.5時)					
	5	タクシー	-•/Š	ス・街	烈光地案内		学んだ表現を音間)	読しながらノー	〜に書き写す。(0.5時					
	6	電話の」	取次	ぎ	-		1	読しながらノー	トに書き写す。(0.5時					
	7	ルーム・	サーロ	ビス				読しながらノー	- に書き写す。(0.5時					
授業計画	8	ハウス	‡—t	ピンク	ĵ		読しながらノー	トに書き写す。(0.5時						
	9	ランドリ・	 一サ	ービ	 ス	学んだ表現を音	読しながらノー	〜に書き写す。(0.5時						
	10	レストラ	ン(卓	明食+	ナービス)			学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)						
	11	英語で図	案内	(観爿	 		学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)							
	12	英語で	案内	(レス	トラン)		学んだ表現を音読しながらノートに書き写す。(0.5時間)							
	13	ロールフ	プレイ	(基	 本会話)		回							
	14	ロールフ	プレイ	(応	用)		ロールプレイの自分のパートを音読練習する。(0.5時							
	15	15 実演テスト(ロールプレイ)												
	15 美演テスト(ロールプレイ) 1) レポート提出1回、2) ロ頭テストを1回実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。													
					言	言語情報 知的技能 運動技能				態度·意欲	その他	評価割合		
評価方法		レポ	ポート	提出		0 0				0		50%		
H I IMI / J /A		実	演テ	スト		0 0					O 50%			
			_											
履修上の注意					とない場合は んとファイリン			資格	各を与えない。	o				

科目名	ビジネスマナーB													
	Business manners B													
科目名(英)	В			ers					担当者					
単位数		2単位			時間数						秋本佐代			
実施年度		2022	年 ——		実施時期 後期 担当者実務					圣験				
対象学科・学年]	国際ホテル	ル・リン	ゾー	-ト科 1年									
授業概要					っておくべきビジ くと共に、自国の							ーがあるのかの		
授業形式	講	義: (0	演	習: △ 実習: 実技:					※ 主 <i>t</i> :	-る方法∶○	その他:△		
	言語 情報	知的 運動 技能		その他					目標					
	0	0	0		日本のビジネス	-								
学習目標	0	0	$\perp \downarrow$!		自国と日本のマナーの違いを説明することができる。								
(到達目標)		0	$\downarrow \downarrow$		日本のビジネス	-				<u>る。</u>				
	-	日本の主な都市の特徴を説明することができる。												
ニナフし、粉廿	<u> </u>	4円以フ		*:主:	<u></u> ★ 『切当什』ロ		エノレのたが		ジジュコーコ	- I-II _ II				
テキスト・教材 参考図書					美 『留学生・日 ·ジメントセンター			りひノし	ニンイ人ヾノ	- とルール』				
	回数					授業項目•内容					授業外学修指示			
	1	第3章1	「話を	きく	 (とき)			テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページ の問題をもう一度解く。(1時間)						
	2	第3章2	「指示	「を!	受けるとき」			テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページ の問題をもう一度解く。(1時間)						
	3	第3章3	 }「注意	 (を	 受けたとき」		テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページ の問題をもう一度解く。(1時間)							
	4	第3章4	「退社	+時	のマナー」	テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページ の問題をもう一度解く。(1時間)								
	├	第3章5			· -	からし題をもう一度解へ。(「时间) テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページ の問題をもう一度解く。(1時間)								
	<u> </u>	第3章6					の問題をもつ一度解く。(「時間) テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページ の問題をもう一度解く。(1時間)							
	7				 とお酒のマナー	プログラン 大学 では、								
授業計画	Ŀ <u>`</u>				程表作成	主要な都道府県		ノートにまとめる。(1						
	⊢-	第4章1							深めましょう」ページ					
	⊢ <u> </u>				 役立つ雑談 Ⅰ			・度読み、「理解を	深めましょう」ページ					
	<u> </u>		·- ·			の問題をもうー! テキストをもうー		·深めましょう」ページ						
	⊢-	第4章4					の問題をもう一月	度解く。(1時間)	· 深めましょう」ページ					
	⊢			-	とお茶の出し方		の問題をもう一度解く。(1時間) テキストをもう一度読み、「理解を深めましょう」ページ							
	⊢-	第4章5					の問題をもう一度解く。(1時間) スピーチのテーマに関して自分の考えをノートにまと							
	_	スピーチ		作原	戊 —————	める。(1時間)								
	15	筆記テス	<u> </u>							後期のテキストから大事だと思う部分をもう一度読 み、ノートにまとめる。(1時間)				
	以	上を下記	己の観	見点・	ストを実施する ·割合で評価す ² 90点以上)·A(8	る。 80点以	L上)·B(70	点以	上)•C(60点					
		- Arter 1				情報	知的技能	恺	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合		
評価方法			記テス			<u> </u>	0					40%		
			ピーチ重 ピート 提			OOO				0		40% 20%		
		レハ		正山		<u> </u>	<u> </u>					ZU/0		
履修上の注意					こない場合は、									

科目名	サービス接遇B													
科目名(英)	Service Industry Skills A													
単位数		2単位	立		時間数		30	担当	皆	秋本佐代子				
実施年度		2022年	- 度		実施時期	実施時期 後期			务経験					
対象学科・学年	1	国際ホテ	ル・リ	ゾー	L ·ト科	 科								
授業概要	掛	サービス業に就くうえで必要なビジネスマナーの基礎知識や、優れたサービススタッフとしての心構えや立居振る舞いについて学ぶ。また専門用語や敬語を学ぶことで、日本語運用能力も高めていく。様々な事例に対してどう対応すべきか自分の意見を述べる力も養っていく。												
授業形式	講	義: (O	演 [:]	習: △ :	実習:		 実技:	*	主た	る方法:〇	その他:△		
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他			L	目	標					
		0			毎回の授業のテーマについて大事なポイントを説明することができる。									
学習目標 (到達目標)		0			お客さまへのI	Eしいが	芯対仕方に	ついて説明す	ることがつ	できる。				
	0	0			5択の文章問題	夏で、正	三解の理由	を説明するこ	とができる) ₀				
		0			サービスについ	ハて自然	分の考えを	まとめて的確	に表現す	ることだ	ができる。			
テキスト・教材 参考図書	1	公益財団法人 実務技能検定協会 『サービス接遇検定公式テキスト3級』 早稲田教育出版(2019)												
	回数				授業項	授業項目·内容					授業外学修指示			
	1	前期の	振り込	図り(確認テスト)		テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一 度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)							
	2	4 対人打	支能(対人	、心理)	テキスト	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)							
	3	4 対人‡	 も能 (接语	量者としてのマナ	テキスト	テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一							
		4 対人打					度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間) テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一							
	4						度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間) テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一							
	5	4 対人打	支能(基本	的な話し方)	度解き、	答えの理	里由をノートに書	く。(1時間)					
	6	4 対人抗	支能(提示	・説明の仕方)	度解き、	答えの理	里由をノートに書						
+100 485 ⊕ L (Ga)	7	4 対人抗	支能(服装	툳)			・読する。授業で B由をノートに書	で解いた問題をもう一 はく。(1時間)					
授業計画	8	ケースス	スタデ	۲۲.	ディスカッション	ディスカ にまtめる			て自分の考えをノート					
	9	5 実務打	支能(問題		テキスト	範囲を音		で解いた問題をもう一					
	10	5 実務打	 士能 (環境		テキスト	範囲を音	読する。授業で	で解いた問題をもう一					
		5 実務打				テキスト	範囲を音		で解いた問題をもう一					
	-						度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間) テキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一							
		5 実務技				度解き、	度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間) マキスト範囲を音読する。授業で解いた問題をもう一							
	13	3 一般知	コ識(慣用]表現) ——————	度解き、	度解き、答えの理由をノートに書く。(1時間)							
	14	これまて	きのま	とめ	。ロールプレイ	(1時間)	これまでの問題のポイントをノートに書いてまとめる。 (1時間)							
	15	筆記テス	スト			筆記テス	筆記テストで間違えた問題を復習する。(1時間)							
	以〕	(1)授業の中で筆記テストを1回実施する、(2)定期試験(筆記)を実施する、(3)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
					言語	情報	知的技能	運動技能	態度•	意欲	その他	評価割合		
評価方法		-	記テ		()	0					50%		
		定	期試	験	(<u></u>	0					50%		
履修上の注意					こない場合は、5									

科目名	1	観光	英語	ξB												
科目名(英)	Tourism English A															
単位数		1単位	立		時間数 15時間				担当者		秋本佐代子					
実施年度		2022年	度		実施時期	後期		担当者実務	経験							
対象学科・学年	Ξ	国際ホテ	ル・リ	ゾー	-ト科 1年	·										
授業概要	1:	観光の各場面で使う英文を紹介する。「読める・理解できる」レベルだけではなく、文章を自然に発話できるように練習していく。また、日本の各都市の観光地の案内文を、辞書を使いながら概要を理解し、日本語で簡単に説明できることを目指す。														
授業形式	講	義:		演	習:	実習:		実技	支:	※ 主た	る方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他			•		目標							
	0	0			場面にあった	適切な	語句を選ぶ	S::Z								
学習目標	0	0				英文を日本語に訳すことができる。										
(到達目標)	0	0			日本語に合う	-										
	0	0			比較的長い街	北較的長い観光地案内文を読み、概要を日本語で説明することができる。										
 テキスト・教材		**************************************	司話。	<u> </u> 学げ・	<u> </u> ジネフ組 <i>光数</i> 3	5位全线	這 『 容 路 i	新1-	ザルチェック	しておきたい#	百出150百日	 』全国語学ビジ				
参考図書		トス観光				可加工作		11) I C	E 0 7 ± 7 7	C C 83 C 7 C 0 19	5円13025日	』 王岡四子にノ				
	回数				授業項	目・内容					授業外学修	指示				
	1	基本語	句の	復習				学んだ語句を音読しながらノートに複数回書いて覚える。(0.5時間)								
	2	少し複雑	惟なる	と法ノ	/案内文読解	(宮城)	学んだ語句を音読しながらノートに複数回書いて覚える。(0.5時間)									
	3	ホテルで	で使う	英文	 文/案内文読角	翟(長野	学んだ語句を音	読しながらノート	- に複数回書いて覚え							
	4				/案内文読解(読しながらノート	トに複数回書いて覚え								
	5				英文/案内文		読しながらノート	トに複数回書いて覚え								
	6				文/ 案内文読 文/ 案内文読		読しながらノート	トに複数回書いて覚え								
	7				英文/案内文		読しながらノート	トに複数回書いて覚え								
授業計画	8	テスト	-	, C	//// /// I//	る。(0.5時間) これまでの語句:	をノートにまとめ	る。(1時間)								
	9	, , , , ,														
	10															
	11															
	12															
	13															
	14															
	15 1 1 1 1 1 1 1 1															
					言語情報 知的技能 運動技能				運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
評価方法		/]	ヽテス	۲۲_		0	0					50%				
町岡刀仏		筆	記試	験		0						50%				
履修上の注意					 ない場合は、兌 きちんとファイ				を与えない。							